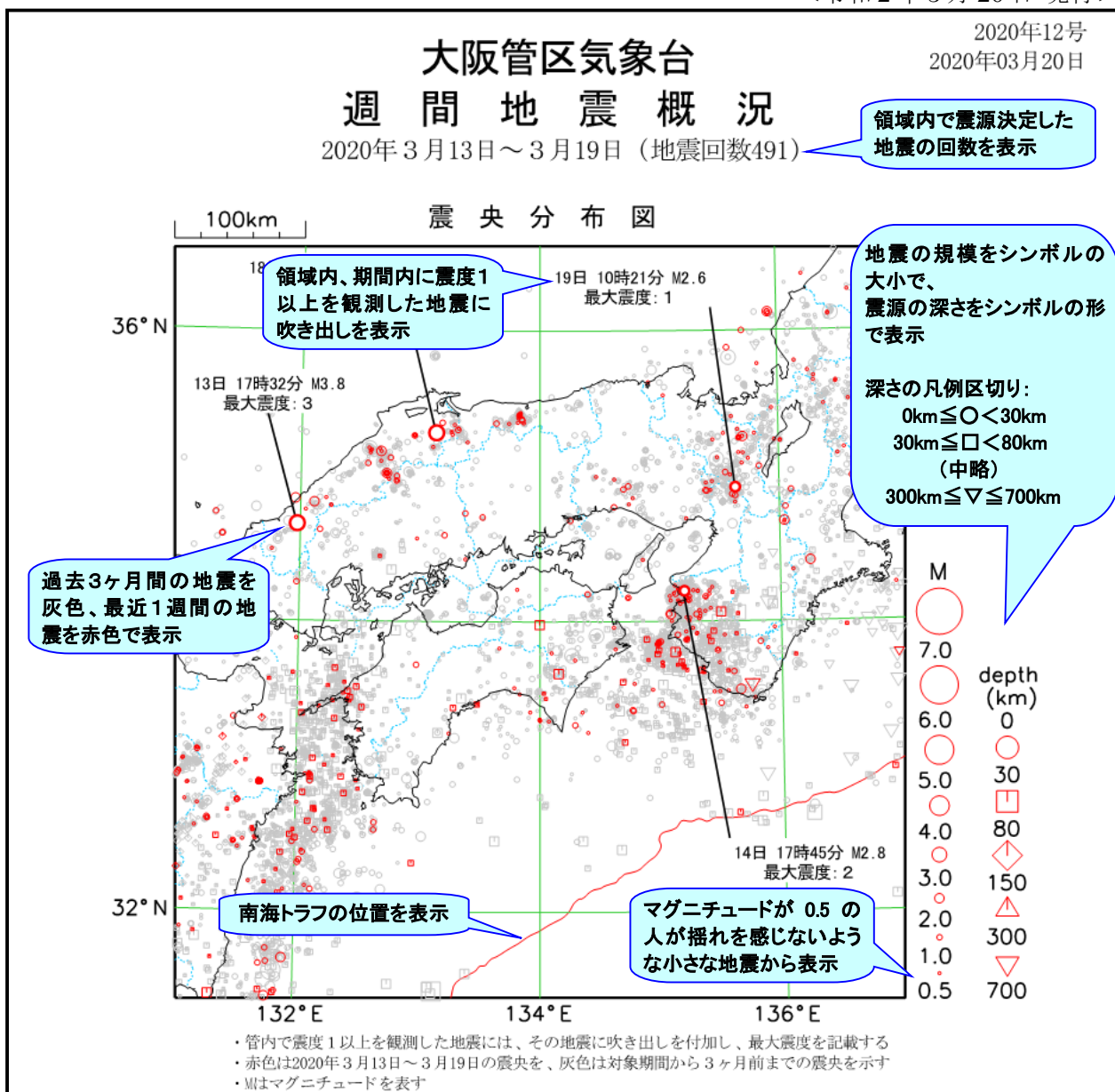


週間地震概況の図表の見方

週間地震概況は、毎週金曜日に管内の地震活動をまとめて発表しています。掲載対象とする地震の期間は、前週金曜日から今週木曜日までの一週間です。資料の構成は、1頁目が『震央分布図と概況』、2頁目が『管内で震度1以上を観測した地震の表』です。ただし、震度1以上を観測した回数によっては3頁以降も表を掲載することがあります。また、期間内に顕著な地震が発生した場合は、別紙として詳細な資料を最終頁に掲載します。以下では、実際に発表した資料に吹き出しを付けて解説していますので、ご利用の参考にしてください。

[1頁目] 震央分布図

<令和2年3月20日 発行>



[1頁目] 概況

<令和2年3月27日 発行>

概況

この期間、管内で震度1以上を観測した地震は7回でした。
管内では、特に目立った活動はありませんでした。

目立った活動がない場合の記述

<平成30年6月22日 発行>

概況

この期間、管内で震度1以上を観測した地震は43回でした。
このうち、震度3以上を観測した地震は5回でした。

【大阪府北部の地震】

18日07時58分、大阪府北部の地震（深さ13km、M6.1）により、大阪府大阪市北区・高槻市・枚方市・茨木市・箕面市で震度6弱を観測したほか、近畿地方を中心に、関東地方から九州地方の一部にかけて震度5強～1を観測しました（別紙参照）。

対象期間内に顕著な地震が発生した場合、
概況は簡単に解説し、詳しい内容を別紙として最終頁に記載
（平成30年6月18日 大阪府北部の地震の記載例）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
※この資料は速報であり、後日の調査で変更することがあります。

[2頁目] 大阪管内で震度1以上を観測した地震の表

<令和2年4月17日 発行>

4月10日から4月16日までの大阪管内で震度1以上を観測した地震

地震発生時刻 各地の震度（大阪管内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
2020年04月13日04時36分 和歌山県 震度 1 : 和歌山市男野芝丁, 和歌山市一番丁*	和歌山県北部	34° 11.6' N	135° 12.2' E	6km	M2.0	1
2020年04月14日03時49分 京都府 震度 1 : 京都左京区広河原能見町*, 京都左京区花脊*	京都府南部	35° 13.6' N	135° 48.6' E	11km	M2.7	1
2020年04月16日14時57分 京都府 震度 1 : 京丹波町本庄*	京都府北部	35.3° N	135.3° E	10km	M2.4 (速報値)	1

次頁の図のように区分け

分単位 ただし、『速報値』は0.1度単位

発行日前日の木曜日に発生した地震は『速報値』

(注)

*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
(速報値)の記載がある地震の震源要素は、地震情報に用いた速報値であり、精査した結果を次号に掲載します。

『速報値』で掲載した地震は、翌週に精査した値を改めて掲載

<令和2年4月24日 発行>

4月16日（先週分）から4月23日までの大阪管内で震度1以上を観測した地震

地震発生時刻 各地の震度（大阪管内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
2020年04月16日14時57分 京都府 震度 1 : 京丹波町本庄*	京都府北部	35° 17.1' N	135° 19.9' E	8km	M2.5	1
2020年04月18日16時29分 和歌山県 震度 1 : 海南市下津*, 右田市初島町*	和歌山県北部	34° 06.3' N	135° 08.3' E	6km	M2.4	1

【 参考 】 近畿地方とその周辺の震央地名

